

デコード処理と
同じ部分

エンコード処理
特有の部分

デコード時の処理を
簡単にするために!

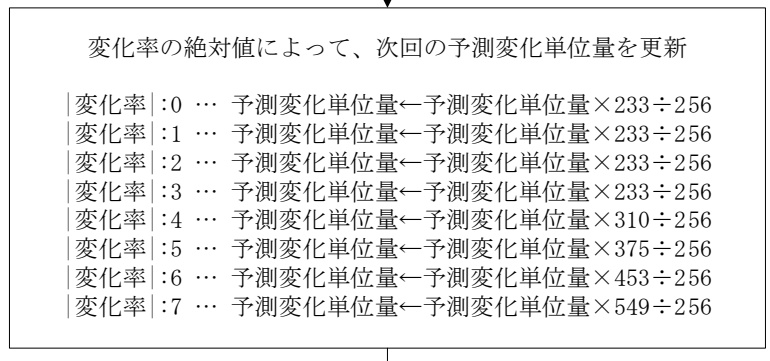
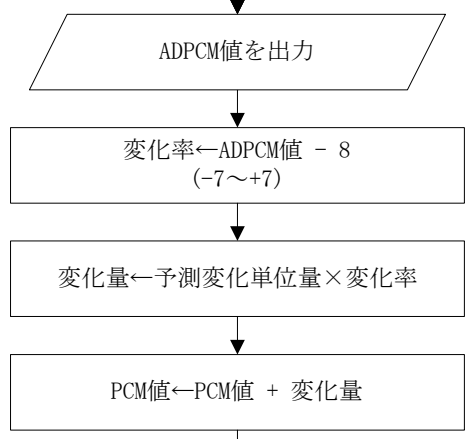
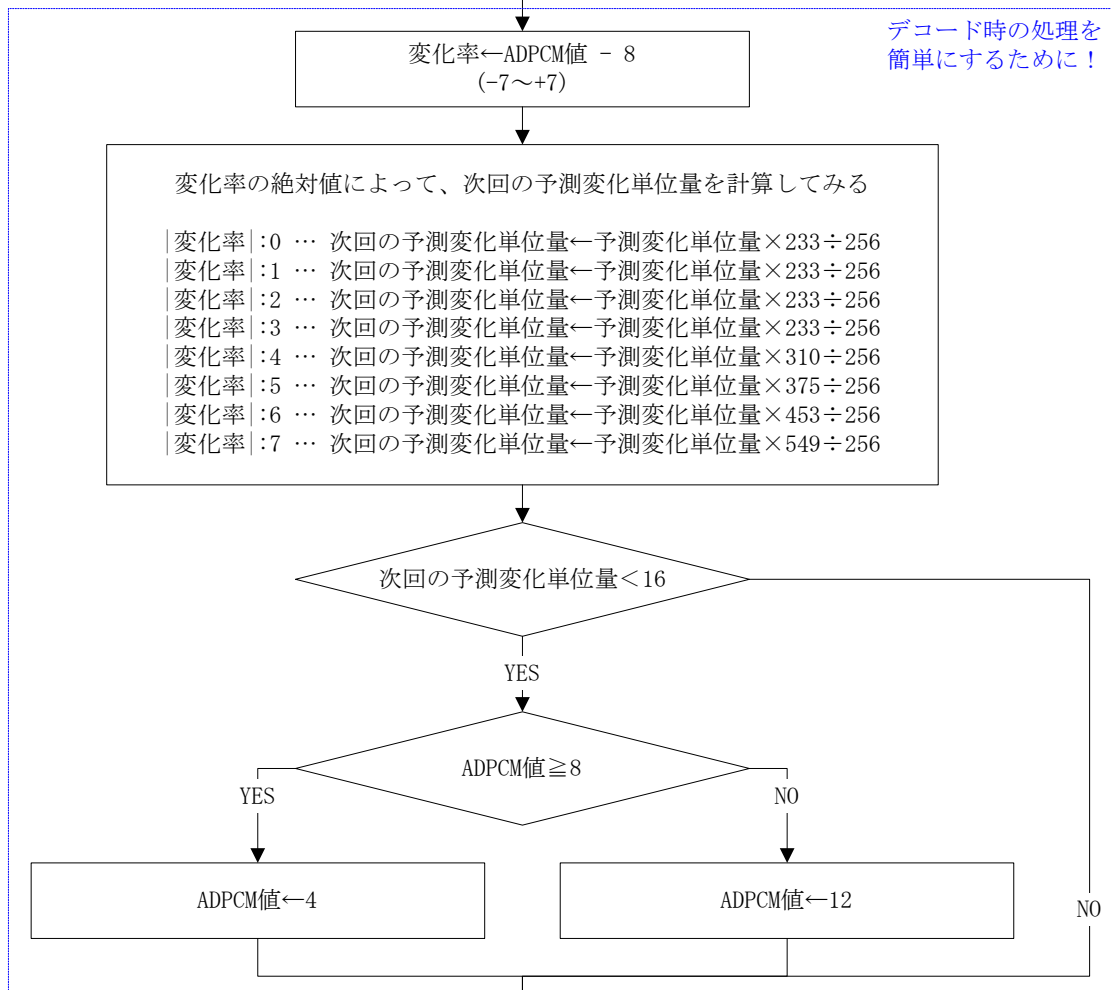
予測変化単位量に対する変化量の比率によって、ADPCM値を決定

予測変化単位量 × (+6.5) < 変化量	… 15
予測変化単位量 × (+5.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+6.5)	… 14
予測変化単位量 × (+4.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+5.5)	… 13
予測変化単位量 × (+3.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+4.5)	… 12
予測変化単位量 × (+2.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+3.5)	… 11
予測変化単位量 × (+1.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+2.5)	… 10
予測変化単位量 × (+0.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+1.5)	… 9
予測変化単位量 × (-0.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+0.5)	… 8
予測変化単位量 × (-1.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-0.5)	… 7
予測変化単位量 × (-2.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-1.5)	… 6
予測変化単位量 × (-3.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-2.5)	… 5
予測変化単位量 × (-4.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-3.5)	… 4
予測変化単位量 × (-5.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-4.5)	… 3
予測変化単位量 × (-6.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-5.5)	… 2
変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-6.5)	… 1

変化率の絶対値によって、次回の予測変化単位量を計算してみる

変化率 : 0	… 次回の予測変化単位量 ← 予測変化単位量 × 233 ÷ 256
変化率 : 1	… 次回の予測変化単位量 ← 予測変化単位量 × 233 ÷ 256
変化率 : 2	… 次回の予測変化単位量 ← 予測変化単位量 × 233 ÷ 256
変化率 : 3	… 次回の予測変化単位量 ← 予測変化単位量 × 233 ÷ 256
変化率 : 4	… 次回の予測変化単位量 ← 予測変化単位量 × 310 ÷ 256
変化率 : 5	… 次回の予測変化単位量 ← 予測変化単位量 × 375 ÷ 256
変化率 : 6	… 次回の予測変化単位量 ← 予測変化単位量 × 453 ÷ 256
変化率 : 7	… 次回の予測変化単位量 ← 予測変化単位量 × 549 ÷ 256

- 予測変化単位量 × (+1.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+2.5) … 10
- 予測変化単位量 × (+0.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+1.5) … 9
- 予測変化単位量 × (-0.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (+0.5) … 8
- 予測変化単位量 × (-1.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-0.5) … 7
- 予測変化単位量 × (-2.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-1.5) … 6
- 予測変化単位量 × (-3.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-2.5) … 5
- 予測変化単位量 × (-4.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-3.5) … 4
- 予測変化単位量 × (-5.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-4.5) … 3
- 予測変化単位量 × (-6.5) < 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-5.5) … 2
- 変化量 ≤ 予測変化単位量 × (-6.5) … 1



デコード処理と同じ部分